

- 昭和59年8月 姉妹都市提携調印
- 60年4月 サレルノ市友好使節団来遠
- 62年4月 サレルノ市親善使節団来遠
- 63年11月 第2回遠野市使節団訪問
- 平成2年9月 サレルノ市親善使節団来遠
- 3年9月 サレルノ市からイタリア料理コックとサッカーコーチ招へい
- 同10月 サレルノ市室内楽団来遠
- 4年10月 第3回遠野市使節団訪問
- 6年12月 サレルノ文化特使団招へい
姉妹都市締結10周年記念式典開催
- 9年1月 サレルノ市へ親善交流訪問
(遠野高サッカー部員など)
- 同11月 サレルノ市公式訪問(サレルノ国際映画祭50周年)
- 12年10月 サレルノ県への民俗芸能使節団派遣(飯豊神楽など)
- 13年7月 イタリア料理コック来遠
- 14年11月 遠野市民間交流グループが親善訪問
- 15年10月 遠野市親善使節団訪問
- 16年8月 姉妹都市締結20周年記念式典開催。サレルノ市親善使節団来遠
- 17年4月 剣道指導者など派遣
- 同11月 サレルノ市で遠野食材PRパーティーなど開催
- 19年4月 サレルノ県経済交流ミッション来遠
- 20年4月 サレルノ市民訪問団来遠
- 21年11月 姉妹都市締結25周年記念事業(サレルノ国際映画祭で初めて昔話を披露)
- 24年6月 細越獅子踊り保存会がサレルノ市などで公演

30年間で互いの地を訪れた交流人口

延べ **539** 人



1_ 姉妹都市締結の調印書に署名する故小原正巳市長とア
ニエッロ・サルザーノ市長 2_ 初めて本市を訪れたサレ
レルノ友好使節団ら(S59年) 3_ イタリア料理のコックが
来遠し、子どもたちに本場のイタリアンを教える(H13年)
4_ 「サレルノ市は日本の遠野と友好都市」と書かれた看板の
前で記念撮影する遠野市使節団ら(H4年) 5_ 締結25周
年の際はサレルノ市で遠野の昔話を初めて披露(H21年)
6_ サレルノ市の中心街で細越獅子踊りを披露(H24年)

多様な交流を展開
合い、交流を深めてきました。

姉妹都市締結以来、サレルノ市と本市は延べ539人の市民が互いの地を訪れています。剣道やサッカーなどのスポーツ、郷土の芸能や料理といった文化、特産品などの産業を通じた交流など、多様な交流に発展しています。遠野の若者がワインやチーズ、イタリア料理を学びにサレルノに滞在することもありました。また、締結25周年の際には、サレルノ市で初めて遠野の昔話を披露し、サレルノ市民の心を打ちました。文化も歴史も言葉も違う、異国の市民同士が30年も交流を続けてこられたことはまさに奇跡。両市の友情は、これからも続きます。

映画「遠野物語」

IBC岩手放送の開局30周年を記念して1982(昭和57)年に制作。村野鐵太郎氏が監督を務めた。撮影は遠野市内で行われ、エキストラで多くの市民が出演している。柳田國男著『遠野物語』のオシラサマを題材に、明治時代の遠野に生きる男女の悲恋を描いた作品。同年10月、第35回イタリア・サレルノ国際映画祭でグランプリを受賞。



Il 8 Agosto 1984, i sindaci si sono firmati il gemellaggio.

1984年8月8日、姉妹都市締結。

風が吹いて

Gli avvenimenti per 30 anni.

映画「遠野物語」からすべては始まり、両市は多彩な交流を重ね、友情を深めてきました。30年の軌跡をたどります。

映画「遠野物語」が結んだ絆

本市とサレルノ市の交流は、映画「遠野物語」(村野鐵太郎監督)が「第35回サレルノ国際映画祭」でグランプリを受賞したことから始まりました。この映画は、1982(昭和57)年にIBC岩手放送の開局30周年を記念して制作され、遠野の風土や歴史、文化が色濃く描かれた作品。伝統文化を大切にしているサレルノ市民に深い感銘を与え、当時の市長アルベルト・クラリアさんが「映画の舞台となった遠野市と交流したい」と村野監督に親書を手渡し、その後84(同59)年に姉妹都市提携が結ばれました。以来、サレルノ国際映画祭には「遠野賞」が設けられ、毎年国際交流に貢献した作品に贈られています。また、市民が互いに行き来しながら、それぞれの歴史や文化を学び

Intervista

『遠野物語』が生まれた原風景を大切に

人柄、景観、文化など「日本の原風景」が今なお残っている遠野の魅力を、映画として残したいという思いで撮影に臨みました。映画を観たサレルノ市民が「映像とストーリーだけでなく、遠野の美しさがイタリア人の心の奥底に響いた」と感動していたことをつい昨日のこのように思い出しています。1本

の映画が取り持つ国際姉妹都市は、他に例がないのでは。30年も交流が続いたことは、制作者として感無量ですね。遠野の皆さんには、柳田國男の名著『遠野物語』が生まれた日本の原風景と、その世界観に共感してくれたサレルノの皆さんとの交流を、いつまでも大切にしたいと思います。

映画「遠野物語」
監督

村野 鐵太郎 さん
=東京都=

Tetutaru Murano

Intervista

遠野らしいスタンスで国際交流を

映画「遠野物語」は、遠野の魅力を全国に、そして世界に発信しようという気概で制作されました。村野監督や弊社のテレビマンの情熱がサレルノ市民にも伝わり、30年の交流のきっかけとなったことを、うれしく誇りに思います。今回、訪問団に参加させて頂き、遠野市民の交流のスタンスに感動しました。そ

れは、家族や古い友人と付き合いように、市民が自然体で交流を楽しんでいるということ。長い間、サレルノとの友情を大切に育ててきたことを感じさせるものでした。遠野市民の「絆」を大切にすることは、世界に通じます。そのスタンスを忘れず、サレルノ市に限らず、世界へ交流の輪を広げてください。

姉妹都市締結30周年
サレルノ訪問団顧問

㈱IBC岩手放送
代表取締役 社長
鎌田 英樹 さん
Hideki Kamata

